

図書館では皆様からの質問・調査に図書館資料を使ってお答えする、レファレンスサービスを行っています。そんな時に役立つのが、事典・年鑑・白書など調べ物の資料、いわゆる「参考資料」です。参考資料を調べることでレファレンスが進んでいく、参考資料はいうなればレファレンスを動かすための原動機です。  
多くは貸出禁止ですが、このコーナーで紹介するおすすめの1冊を、ぜひ皆様も手に取ってみてください。

### 『ひと目でわかる実用手話辞典』

手話技能検定協会／監修  
新星出版社 2002年 R378.28/4

タイトルに「実用」とあるように、「手話技能検定試験2級出題範囲の2000語」を中心に実践的な3000語の語彙が掲載されています。掲載数が多いため、ひとつひとつの手話を説明するスペースはさほど多くはありませんが、イラストと文章で手話の動きを適切に解説しています。また、語源を掲載して言葉の意味と手話としての動きの間に関連性を持たせるなど、覚えやすくする工夫が目にとまります。

資格試験を受ける人、手話をこれから学び始める人、手話をもっと使いこなしたい人、様々な人に活用していただける1冊です。



#### 窓際閲覧席の利用について

現在新所沢分館では、西側窓際の26席のみ、持込みの勉強にご利用できます。朝9時20分時点でご希望の方が20名以上並んでいる場合は、座席札を配布しています。所沢市在住の方優先となりますので、ご住所の確認できるもの（免許証、学生証など）を用意して、お並びください。開館後座席札を回収に参りますので、お席の右側に置いておいてください。

#### 赤ちゃんタイム実施のお知らせ

毎月第2金曜日の10時から12時まで赤ちゃんタイムを実施しています。幼いお子さんを連れた方に気兼ねなく図書館を利用していただくという時間です。この時間帯には赤ちゃんの声が館内に響く場合がありますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

#### 閉館時の返却について

緑町中央公園の向いにある児童館側駐輪場の壁沿いに返却口がありますので、閉館時はそちらにお入れください。

視聴覚資料や他の市町村から借り受けた本は直接カウンターまでご返却下さい。

#### 編集後記

図書館まつりが終わると、もう一年が終ろうとしていることに気が愕然とします。何かしなければと無用に焦りますが、そんな風に気ばかり焦っても何もできないものです。

新所沢分館は12月28日から年末年始のお休みに入ります。お休みの間貸出しの期間が長くなります。この機会に、普段は読まないジャンルや作家の本にも挑戦してみたいはかがでしよう？



#### 読むトコ 第4巻第3号

編集・発行：所沢市立所沢図書館新所沢分館

発行日：2015年12月1日

〒359-1111 所沢市緑町1-8-3 ☎04-2929-1905

開館時間

火曜から金曜 9時半～21時

土日祝日 9時半～17時

休館日 毎週月曜日・月の最終水曜日

指定管理者 株式会社ヴィアックス



# 読むトコ

第4巻第3号 (2015.12)

#### ★『図書館員のおすすめ本対決！?』

昨年と同様おすすめ本対決を行いました。17名のスタッフのおすすめした本はいかがでしたか？

投票の結果、

- 1位 『The Book』 乙ー／著 集英社
- 2位 『声の残り』 ドナルド・キーン／著 朝日新聞社
- 3位 『似ていることば』 おかべたかし／著 東京書籍



となりました。投票に協力してくださった皆さま、ありがとうございました。

#### ★『ブックリサイクル』

通常のリサイクルを、拡大して、約1000冊のリサイクル本をご用意しました。開館と同時にたくさんの方に集まっていたきました。ブックリサイクルは、図書館の入り口の掲示板の下に常設しています。



#### 第16回

## 図書館まつり



#### ★大人の図書館ツアー

普段は入ることのできない書庫や返却ポストの中に入ったり、事務室や対面朗読室を見学したり、本の修理体験をしていただきました。参加されたみなさんはメモを取りながら、熱心に話を聞いてくださいました。



#### ★新所沢分館の歩みを展示！

『しってる？しんとこ』『おいでよ！しんとこ』『おいでよ！しんとこイベント』

開館時から今現在までのデータや、昨年度と今年度の新所沢分館で行われた、おはなし会などのイベントの様子を紹介しました。

これからも次々とイベントを行います。ぜひ、参加してみてくださいね。



中面にも図書館まつり関連記事

## 図書館スタッフの心に残る百人一首

図書館まつりでは、新所沢分館のスタッフが百人一首の中から心に残るおすすめの一冊を紹介する特別展示を行いました。歌とともにスタッフによるおすすめ文も掲示しました。

どんな歌を選ぶのか、どんなポイントが心に響いたのか、スタッフそれぞれの個性が表れていました。百人一首の短冊は図書館まつりの後も展示してあります。

また、百人一首の本は911.147の棚にあります。そちらもぜひご覧ください。



図書館をもっと便利に！もっと楽しく！

## 図書館ワンポイント講座

第3回

大変!! どうする?  
こんなとき



図書館で借りた図書、大切に使っているつもりでも、ちょっとしたきっかけで濡らしてしまったり破いてしまう事も有るかも知れません。そんな時に気をつけてほしいこと、してはいけないことがあります。いざというときの参考にしてください。

### 本を濡らしてしまったら

濡れた本を放置すると、シミになったり、ページが波打って読みにくくなってしまいます。

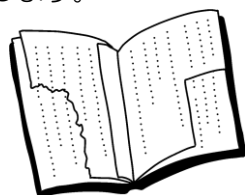
借りた本を濡らしてしまった時はなるべくお早目に図書館のカウンターでスタッフにお渡しください。紙を挟んでページ同士がくっついてしまわないようにし、おもしろを使ってなるべく本が傷まないよう処置します。

### 本を破いてしまったら

破れが広がらないように気を付けて、図書館のカウンターに返却してください。

ページから取れてしまっている部分がある場合は失くさないように気を付けて、

セロハンテープで張り付けることはおやめください。接着のための溶剤が劣化して茶色く変色してしまいます。



### 子どもが本に落書きをしてしまったり・借りた本にアンダーラインが引いてあるのを発見したら

鉛筆など、消しゴムで消えるチェックやアンダーラインはその場で消してしまいたいかもしれませんが。でも力加減を間違えるとページを破いてしまったり、しわくちゃになってしまうこともあります。また、絵本などのカラーページに消しゴムをかけると、色が薄くなってしまったりすることがあります。落書きやアンダーラインなどを発見したら、返却の際に図書館スタッフにお申し出ください。また、ボールペンやマジックなどの消えない書き込みをしてしまった場合はその旨をお伝えください。



新所沢分館ではこれまで、4度にわたって「本が泣いています」と題して、汚れや破れ、水濡れ等状態が悪い資料を集めた特集展示を行っています。図書館の本は多くの方が使う市民の財産です。大切に使って下さい。また、図書の状態によっては同じものを購入して頂くことがあります。

# ボランティアさんインタビュー



志村 悦子さん

### 対面朗読サービスとは?

所沢市立図書館では、読書にハンディキャップのある方を対象に、図書館資料に親しんでいただくため、対面朗読を行っています。利用者様のご希望の図書・新聞・雑誌などをボランティアの朗読者がお読みするサービスです。新所沢分館では月に数回このサービスをご利用いただいています。今回は、朗読のボランティアをいただいている志村悦子さんにお話を伺いました。

### ボランティアを始められたきっかけは?

以前から娘が盲導犬に興味を持っていて、自分も何かボランティアをやりたいと思っていました。そんな時、知人が他の市で対面朗読ボランティアの講習会を受けたと聞いて、所沢市でも募集が無いか調べて申し込みました。

### ボランティアを行うにあたって心がけていることは?

聞きとりやすいようにはっきりと読むことです。読み方や意味の分からない単語はそのままにせず、時には利用者さんと相談することもあります。そうすることで意思の疎通も図れ、お互いに楽しい気持ちで臨めます。

### これからボランティアを始めようとする方へのメッセージ

本を読むことが好きな人、熱意を持っている人にやってもらいたいです。講習会をきちんと受けて、しっかりと勉強してください。講習会では講師の方に言われた「ただの朗読とは違う」という言葉が印象に残っています。気持ちの押し付けにならないように客観的に読まなければならない点で、通常の朗読と同じように考えないでください。

所沢でボランティアを10年近く続けて来られた志村さんは、インタビューに丁寧に答えてくださいました。「紙を切って図形を作り、触ってわかるように地理の説明をしたとき、それをきっかけに地理に興味をもってくださった方がいました」嬉しそうにそう語る志村さんの穏やかな口調の裏に静かな情熱が感じられました。

## 図書館スタッフおすすめの本

『きもの365日』(集英社文庫) 群ようこ/著 集英社 2004.5 B593.8 /M

『きものが欲しい!』(角川文庫) 群ようこ/著 角川書店 2006.2 B593.8 /M

『きもの365日』は「トラちゃん」や「かもめ食堂」で知られる群ようこさんが1年365日をできる限り着物で生活すると決め、試行錯誤を繰り返しながらとうとうやりとげたエッセイです。

着物とかかわる日々の思いや生活が綴られていますが、日記形式なので季節感にあふれていますし、カラー写真も載っているのが小物合わせの参考にもなります。

なんととっても群さん好みのすっきりとした着こなしが美しい。

また『きものが欲しい!』には群さんのきものデビューから呉服店との付き合い方、着物好きな方々との対談が載っています。佐藤愛子さんや今また注目されている篠田桃紅さんとの着物談義も一読の価値ありです。

(K・H)



株式会社集英社



株式会社 KADOKAWA

### 《今回のおすすめ本に興味を持たれた方にはこんな本もおすすめ》

『小福歳時記』群ようこ/著 集英社 2013.7 B914.6 /M

『かつら・スカーフ・半ズボン』群ようこ/著 筑摩書房 1998.12 B914.6 /M